

平成二十六年

第四回(12月)定例会

平成26年、第4回座間市議会定例会が11月27日から12月19日までの日程で開催されました。私も市民の皆さまの代弁者として全定例会(9回)に登壇の機会をいただきました。



顧客・市民・満足度の

日本一の座間をめざし

(主な質問内容)

行政は、市民と様々な課題・問題を共有し、相互に各々の機能を果たし、解決していくことが好ましく、それには日頃から市職員の方と市民の方がいかにコミュニケーションを図るかが求められます。その方法は様々なことが考えられますが、コミュニケーションの始まりは、まず挨拶を交すことにあると思います。ある自治体では「まちづくり、人づくりは、まず挨拶から」と考え、地域や学校を中心として取り組んだり、少子高齢化などにより増加していく核家族化による家庭教育力の低下など、家庭教育の原点は挨拶にあると、あいさつを中心とした家庭教育のあり方について取り組むなどされております。

本市においても地域の見守り隊などの方が中心に小学校の登下校時に声かけ運動や中学校においてもPTAを中心として朝の挨拶運動などが行われており、実際に私も駅頭等で小学生や中学生に声を掛けますが、ほとんどの子どもたちが挨拶を返してくれます。市役所の中はどうだろうと考えます。例えば庁舎内を、店員が数百名働いているデパートに置き換え、ご想像下さい。

店員が数百名もいれば、一人一人の名前も顔も恐らくわかりません。しかし、知らない店員同士が店内ですれ違うときでも『お疲れさま』『お客様に対して』という声かけを『お疲れさま』と声をかけることは当然のことです。本市の庁舎内においても職員同士が声をかけ合うことで、融和を高め、明るい職場づくりの基本とも考えます。また、同様に来庁された市民の方にも『こんにちは』などの声をかけることにより、市民の方が行政や職員の方に対する認識も変化し市民と職員とのコミュニケーションも深まり、行政への理解度も高まってくるのではないかと考えますが所見をお聞かせ下さい。

(総務部長)

平成24年2月に作成した、心のこもった接待マニュアルでは、表情・態度・挨拶でお客様に安心感を持っていたため対応の手順といたしまして、一つ、二つ、三つ、説明、処理をする。四つ、気持ちを込めた挨拶で見送るとしております。第四次座間市総合計画の施策49、職員育成のまちづくり指標として、職員の接遇、対応に満足できる市民の割合を平成32年度末までに50%に高めることを目標として設定しておりますが、こうしたマニュアルの作成や職員に対する研修の結果、これまでのまちづくりのための市民アンケート調査では、平成22年6月では25%でしたが、平成24年9月では33%、平成26年8月では39.2%と確実にその成果が上がっているところがございます。今後もさらに職員同士や市民の方々とのコミュニケーションを深められるよう努めてまいります。



初心忘れず 更なる活躍を!!

前座間市長 星野 勝司

私と芥川君との出会い、十年前、祭りの御輿連の中に頑強な身体、たくましい眼光、そして一糸乱れず統率し、一際目立つ男、それが芥川君であった。

二年前、市議会議員に立候補しますと挨拶に見えた。「私、芥川かおるは、今日まで多くの方々にお支え頂き成長してまいりました。これからは報恩の心をもつて人の心、出会いを大切に、市民皆さまの声に真摯に耳を傾け、市政へ反映すると共に、大好きな座間の発展へ全力で邁進してまいります。」と力強く決意を語ってくれました。その時私は、その決意を違えず頑張つて下さいと申し上げた。

当選早二年半、全ての市議会定例会の一般質問に登壇し、堂々と発言されていると伺っております。

時々私と会うとき議論もいたします。私の意見に目を背けず自分の考えを述べる。三年前にはなかった姿勢であり芥川君が日々研鑽努力した証し、頼もしく感じております。

これからも初心忘れず、何事にもめげず、市民皆さまとの絆を一層強め、不屈の精神で力強く活躍していつてくれることを心から期待致します。

芥川かおる君の使命感と責任感に共鳴

芥川かおる後援会顧問

元市議会議員

山本 愈

後援会顧問を引き受け早二年半、時の経つ早さを痛感しております。芥川君は常に「自分を一度人の心・考えに置き換え、そして行動する」と申しております。彼は身体の大きなわりに、緻密な気配り、そして自論をしっかりと持ち、堂々と活躍してくれており、心強く思います。

三・一一東日本大震災時、被災地へ物資両面を持つていち早く赴き、日夜活躍されました。「言うは易し行ふは難し」と申します。その時の彼の使命感、責任感には感服致しました。必ずや大きく成長してくれることを確信しております。皆さまには変わらぬご指導、ご協力をお願い申し上げます。

《ご案内》

～ご家族、ご友人、お誘い合わせのうえ
ぜひ、ご出席下さい。お待ちしております。～

◆早春の集い

日時:平成27年2月22日(日)
14:00より開会
場所:鈴鹿明神社/参集殿
主催:芥川かおる後援会

◆青年の集い

日時:平成27年3月8日(日)
16:00より開会
場所:鈴鹿明神社/参集殿
主催:神奈川自民党第13選挙区青年局

◆女性の集い

日時:平成27年3月15日(日)
18:30より開会
場所:ハーモニーホール座間/小ホール
主催:座間市甘利明の会ひまわり会・
遠藤みきお後援会葵の会・芥川かおる後援会女性部

(お問合せ: 自民党座間第一支部事務所 ☎046-206-5401)

絆 芥川かおる 市政レポート

～KIZUNA～



第8号 広報誌「絆」
芥川かおる後援会
発行日：平成 27年 2月
事務所：座間市入谷4-1881-45
発行責任者：野口利夫



きらく座間の未来のために！
ずっと変わらない姿勢！
なるほど県政！



第18回統一地方選挙において、神奈川県議会議員座間市選挙区に自民党公認候補予定者が現れてくれました。
私といたしましては自民党公認の出馬をたのしく思うと共に座間市の輝かしい未来のために42歳という若き青年、芥川かおる君を推薦し、座間市発展のため多くに期待いたします。

甘利 明



●街路整備の促進を

都市計画街路座間南林間線、相模原二ツ塚線は市の基幹道路であり、市の発展に不可欠であります。県事業としての延伸と促進を強く求めてまいります。

●雨水による溢水対策を

地球温暖化による集中豪雨、市内には一級河川相模川、鳩川、目久尻川があります。危険箇所等の安全点検をし、改修の必要性の確認、実施、また、台上地域の抜本的雨水対策として、大和市を流れる引地川の改修が必要であります。広域行政としてその早期改修を求めてまいります。

●福祉・医療の充実を

子育て支援の充実をはじめ、子供、高齢者、障害者の意見も反映し、全ての人が安心して暮らせる医療福祉の県の役割、市と連携強化による充実を求めてまいります。

●明日を担う子供達の教育の充実を

教育の質を高め、環境を整え、子供達がのびのびと学び、そしてルールを守る大切さ、人への思いやりと優しさを持った子供たちが育つ教育の充実を求めてまいります。

●全長20kmに及ぶ遊歩道・自転車道を

さがみグリーンラインは圏央道と相模川に沿って座間から平塚の海岸まで計画されています。この早期実現を求めていくと共に、相模河川敷にスポーツ広場等の整備を、市と協調し実現を求めてまいります。

挑戦なくして
成果なし

●安心・安全なまちづくりへ

治安・防災対策の強化を

犯罪のない安全・安心のまちづくりと、災害に強い地域づくりへ、県の役割、そして市と連携した強化策を求め、暮らしの安全確保に努めます。

●産業の振興策の充実を

景気は回復基調とはいえ、様々な格差が生じ、景気回復への継続的な中小企業支援策による活性化に向けた施策が必要です。また、農業振興についても、安全な農産物の提供、地産・地消等を推進する都市農業への支援が必要であり、その推進を求めてまいります。

●女性の活躍支援を

子供を産み、子育てしやすい環境づくり、また働く女性の支援策として、保育の充実、病児保育の設置に向け、県市とのパイプ役として努めてまいります。



いつでも市民目線！
皆さまの声を
お聞かせください。

公式サイト：
<http://www.akutagawa-kaoru-kizuna.com>

facebook：
<https://www.facebook.com/kaoru.akutagawa.18>